



研究者名※	田中大介	学位※	博士(社会学)
所属※	人間社会学部 現代社会学科	職名※	准教授
連絡先	tanakad@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/EQtU9PgbsBTL6Jpc		
研究分野※	社会学		
研究キーワード※	都市論、メディア論、モビリティ論		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費助成事業(基盤研究C), 2009-2011, 消費空間を中心とする消費化・情報化時代の「都市の論理」の社会学的研究, 3,120千円, 研究協力者, 研究機関早稲田大学(研究代表者若林幹夫) ・科学研究費助成事業(基盤研究C), 2012-2014, 現代都市社会における時間・空間の生産・流通・消費と編成の社会学的研究, 4,940千円, 研究分担者, 研究機関早稲田大学(研究代表者若林幹夫) ・科学研究費助成事業(基盤研究C), 2015-2017, 東京臨海部における時間・空間の生産・流通・消費と編成の社会学的研究, 4,680千円, 研究分担者, 研究機関早稲田大学(研究代表者若林幹夫) ・科学研究費助成事業(基盤研究C), 2018-2021, 東京臨海部を対象とする現代大都市の空間的・時間的構造の社会学的研究, 4,680千円, 研究分担者, 研究機関早稲田大学(研究代表者若林幹夫) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・「自動車の文化的価値の歴史的展開と現代的探究」2020(株)トヨタ自動車への研究報告書 ・KOTOBAOLOGYメソロジー研究 一まちのこばを素材としたワークショップを通じて(株)博報堂研究開発局への研究報告書・ワークショップ 		
受賞歴			

研究領域	社会学 (都市論・メディア論・モビリティ論)	(SDGs)	
研究テーマ※	現代都市インフラ(交通機関・消費施設・情報環境等)に関する社会学的研究		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 現代都市は、さまざまなメディア・テクノロジーを通して、時間や空間的な構造、および人びとの生活や関係を形作っている。こうした都市インフラが、ただの技術的所与や工学的条件ではなく、都市を生きる人びとの経験様式とどのように関係し、交渉するなかで現れているかを多角的に研究している。</p> <p>具体的にはとくに東京を中心とする公共交通における通勤通学の歴史的形成と現代の変容、戦後日本におけるショッピングセンターの歴史的形成と現代の変容、情報化時代における都市空間の特徴などに関する研究に従事してきた。現在は、東京臨海部における都市環境の形成とその特徴、「女性にとっての都市/都市にとっての女性とはなにか」を考察するガールズ・アーバン・スタディーズ、モビリティーズ研究(社会科学の移動論的転回)などに取り組んでいる。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性にとっての都市/都市にとっての女性とはなにか」(GUS) ・通勤電車マナーの戦後史・現代史 ・東京臨海部における都市計画・都市構想・都市経験の系譜と現在 ・現代都市におけるビッグネス(巨大さ)に関する社会学的研究 ・「情報化時代における都市とはなにか」に関する社会学的研究 ・モビリティーズ研究(社会科学の移動論的転回)に関する社会学的研究 <p>【研究方法の特色】 都市インフラに関する研究を歴史社会学、都市社会学、メディア論、モビリティ論などの視点から多角的に行っている。</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・田中大介編著2017『ネットワークシティ:現代インフラの社会学』北樹出版 ・若林幹夫編著2014『モール化する都市と社会』NTT出版 		
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 		